

高茶屋地区・藤水地区の雨水対策を質す

議会質問

令和6年8月の台風10号の影響により、高茶屋地区及び藤水地区では冠水した道路で、車両が立ち往生するなど、市民生活に大きな影響がありました。高茶屋地区では、令和5年から天神



ポンプ場が供用開始され、藤水地区においても令和8年度から藤方第2幹線の完成を目指すなど、浸水被害軽減に向けた雨水対策を着実に進めています。今後の進捗についてどうか質問した次第です。

市長答弁として、「藤方第1・第2排水区では令和8年度までの計画で進めています。また、国道23号西側では、農業用ため池である『真ヶ坪池と池ノ谷池』を洪水調整池に転用し、『レインボー夢シ

ティ垂水』内の既設調整池を活用し雨水流出抑制を図っています。令和9年1月に工事完了に向けて進めています。また、天神・大新田排水区においては、令和7年度以降天神第2雨水幹線築造に伴う用地買収を予定しており、整備を進めています。また、大新田排水機場は、仮設ポンプを設置し運用していますが、新たな施設整備が必要であり、現遊水地となっている地形状況を活用し調整池の整備を進めていきます。」との答弁がありました。

「レークサイド君ヶ野」「錫杖湖水荘」等の経営状況は

議会質問

所謂、少子高齢化による人口減少に伴い、津市の中山間地における農林業は従事者の高齢化が進み、後継者や担い手が減少しています。併せて、農産物の消費低迷により、農業の衰退化・弱体化が懸念されています。また、歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源にも恵まれ、年間を通して多くのイベントも開催されています。

しかしながら、市直営施設であるこの3施設の経営状況は、あまりよろしくないと聞いており、質問した次第です。



市当局は、『錫杖湖水荘』の過去の実績として、令和4年度の歳入は、12,650,961円。歳出は27,466,001円。令和5年度は、歳入は、18,762,435円。歳出は、27,615,927円。また、『レークサイド君ヶ野』は、令和4年度、売り上げは、1,213,800円。支出は、9,646,474円。令和5年度、売上は、1,528,500円。支出は、9,920,366円。となっており、いろんな取り組みを進めてはいるが、経営改善には至っていない。今後は、民間参入意向等意見募集（サウンディング）を行い、方向性を検討していく」との答弁でした。

日本一の大和市立図書館を視察しました



大和市文化創造拠点「シリウス」は、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内子ども広場を中心とした施設です。1階は2つのホールとギャラリーを備えるフロアで、メインホールは1007席、上質で落ち着いた空間、サブホールは272席、運営は「サントリー」が行っています。

その他に、図書館や放送スタジオ、またスターバックスコーヒーもあり、広い空間でありました。2階は、市民が楽しく集う交流フロアで、図書館、市民交流ラウンジがありました。ラウンジは有料にもかかわらず満員で居場所づくりとなっていました。その他に、くつろぎながらの図書館や、遊んで学ぶ図書館、調べて学ぶ図書館など工夫がされていました。運営は、小学館と集英社が共同運営しているとのことでした。

利用者は、一日当たり、8000人から12000人利用しており、広々とした閲覧席や本を手に取りやすい展示方法など、利用者が行きたくなるこだわりが随所に見られました。